

「共謀罪」法施行 物言えぬ怖さ

無職

(三重県 88)

「共謀罪」の趣旨を盛り込んだ改正組織犯罪処罰法がとうとう施行されてしまいました。戦後生まれの政府の人々には、「共謀罪」の本当の恐ろしさが分からないと思います。

1944(昭和19)年4月、学徒動員の命に勉強どころか軍需工場で働く毎日。うっかり不満を言えば見張りの将校に拉まされ、自分の意見さえ封じられました。「帝国海軍航空部隊は○○において敵機○○機を撃墜し、諸軍事施設に大損害を与え……」といった発表を信じ、ひたすら働いたのです。

ベニヤ板を接ぎ合わせた飛行機を見せられ、「こんなもので飛べるのか」と疑っても決して口には出せませんでした。終戦となり、自由に口が開けると喜ぶと共に、国を信じてきたことの口惜しき。戦争は自分の思うことも言えず、考えることすら奪うのだと思い知りました。

最近の政治は「共謀罪」の名の下で物が言えない国に逆戻りする気がしてとても怖いですが、でも、私たちの意見を届ける手段は選挙しかない。次回は国民のために働いてくれる人に投票すべきだと若い人にも呼びかけたいです。「1強」の政府をつくってはいけません。